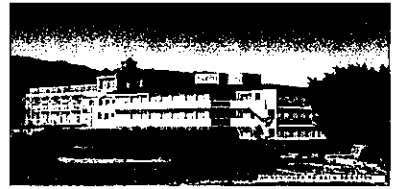


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)旭が丘ホーム改修・解体・増築	階数	地上3F
建設地	京都府長岡京市井ノ内朝日寺23番	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、法22条区域	平均居住人員	103人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年2月15日
敷地面積	5,539 m ²	作成者	臼井 千尋
建築面積	1,060 m ²	確認日	2017年2月15日
延床面積	2,984 m ²	確認者	定森 淳一



2-1 建築物の環境効率 (BEL) ランク&チャート	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE=1.2 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 82%</p> <p>③上記+②以外の 81%</p> <p>④上記+ 81%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-1 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.9

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<p>Q1のスコア= 2.6</p>	<p>Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3のスコア= 3.1</p>

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.5

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア= 3.6</p>	<p>LR2のスコア= 3.6</p>	<p>LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>空冷ヒートポンプ、LEDの採用で、省エネルギー性能及びCO₂削減に配慮。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>温熱・光・視・空気室環境の向上に努め、室内環境に配慮。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い材料を採用し、サービス性能に配慮。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>敷地内の既存緑地の保全及び新たに植栽を設けて敷地内環境に配慮。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>太陽光発電設備、空冷ヒートポンプエアコン・LED照明の採用で、省エネルギー性能に配慮。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型器械、再生資源の活用で環境保護に配慮。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出量81%に抑制し、敷地外環境に配慮。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される